

2026年3月25日
東京科学大学
(株) Science Tokyo Innovation

科学とオペラが劇場で出会う
東京二期会オペラ『ルル』鑑賞と教養講座を実施
—カルッツかわさきを接点に、川崎から“知と芸術の新拠点”へ—

東京科学大学（以下、Science Tokyo）の100%出資子会社である株式会社 Science Tokyo Innovation（以下 STI）は、2026年4月11日（土）にカルッツかわさきにて開催される公益財団法人東京二期会（以下、東京二期会）のオペラ『ルル』公演との連携企画として、「教養としての科学技術と芸術鑑賞セミナー」講座を実施いたします。

本企画は、Science Tokyo と東京二期会が、劇場を接点として結ばれる新たな文化連携モデルです。

【企画概要】

「教養としての科学技術と芸術鑑賞セミナー」講座

日時：2026年4月11日（土）

11:30～12:30 教養講座（11:00～ 受付）

12:30～13:15 昼食

14:00～16:30 オペラ『ルル』公演鑑賞

会場：カルッツかわさき <https://culttz.city.kawasaki.jp/>

講師：山崎太郎（東京科学大学 リベラルアーツ研究教育院 教授（ドイツ文学））

主催：株式会社 Science Tokyo Innovation

協力：東京科学大学（Science Tokyo）／カルッツかわさき／公益財団法人東京二期会

参加料：20,000円（チケット代、昼食代、消費税込）

お申し込み先：カルッツかわさきチケットセンター

電話：044-222-5223 10時～18時

お申し込み締切：2026年4月3日（金）18時まで

【公演概要：東京二期会オペラ『ルル』】

日時：2026年4月11日（土）14:00開演（13:15開場）

会場：カルッツかわさき

演出：カロリーネ・グルーバー

指揮：オスカー・ヨッケル

管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

主な出演：宮地江奈（ルル）、黒田祐貴（シェーン博士）

（内容）

貧民街に生まれた少女ルルは、新聞社の編集長シェーン博士に拾われ、彼の理想の女性として育てられる。男たちの欲望と幻想の中で、名前を奪われ、役割を与えられながら生きるルル。

愛され、裏切られ、所有され—それでも彼女の奥底には、まだ誰も知らない〈ほんとうのルル〉が息づいている。彼女が最後に見つめるものは、愛か、自由か、それとも……。

【本連携の意義】

本企画の意義は、科学とオペラが共鳴する新しい文化モデルとして、事前レクチャー、昼食をはさんで、芸術を実体験します。科学とオペラが共鳴する新しい文化モデルを Science Tokyo とカルッツかわさきから発信する第一歩として取り組みます。

- Science Tokyo が芸術を共創対象として捉えること
- 芸術団体が科学と対話すること
- 劇場を知的公共空間として再定義すること

【連携の背景】

Science Tokyo は、科学技術を社会実装していく中で、社会と関わりの深い芸術分野との横断的な接続を模索してきました。

一方、東京二期会は、創立以来、オペラ芸術の普及・発展・振興を使命として活動してきた団体です。その歩みの中で、常に「現代にふさわしい上演とは何か」を問い続け、時代と向き合うオペラ制作を重ねてきました。

公演の舞台となるカルッツかわさきは、さまざまな公演を行うことができる環境を持つホールとなっており、科学技術の要素を内包しながら、芸術表現が結晶する場といえます。

【お問い合わせ先】

（チケットに関すること）

カルッツかわさき

Email : culttz-support@c-linkage.co.jp

TEL : 044-222-5223 FAX : 044-222-5122

（本件に関すること）

株式会社 Science Tokyo Innovation

Email : kyouyoukagi20260411@tokyotech-i.co.jp

TEL : 03-6425-7305 FAX : 03-6425-7306

(報道取材申し込み先)

東京科学大学 総務企画部 広報課

取材申し込みページ : <https://www.isct.ac.jp/ja/001/media>

Email : media@adm.isct.ac.jp

TEL : 03-5734-2975 FAX : 03-5734-3661